

瑞穂市
地域福祉計画策定のためのアンケート調査
結果報告書
(自由意見・その他)

令和2年3月
瑞穂市

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収結果	1
4 本報告書の基本的な事項	1
その他の意見	5

調査の概要

1 調査の目的

市民がともに支え合う福祉社会の実現に向けた各種施策を推進するための「瑞穂市地域福祉計画」の見直し作業を進めるにあたり、市民の普段の暮らし方や考え方、市へのご意見をお寄せいただき、計画を策定するための基礎資料として実施します。

2 調査の方法

(1) 調査対象

市内にお住まいの18歳以上のかた

(2) 抽出方法

無作為抽出（小学校区別）

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収

(4) 調査時期

令和2年1月

3 回収結果

(1) 配布数 2,000

(2) 回収数 768

(3) 回収率 38.4%

4 本報告書の基本的な事項

本報告書は、アンケートの設問の「その他」に記載された意見、自由意見について、それぞれカテゴリー別に区分してまとめたものです。

「地域福祉」や「福祉全般」についてご希望やご意見等がありましたら、自由にお書きください。

「地域福祉」や「福祉全般」についてのご希望やご意見等は、163件ありました。その中で〈福祉〉にすることが44件と最も多く、次いで〈施設〉にすることが(17件)、〈行政〉にすることが(16件)、〈子育て〉にすることが(15件)、〈交通〉にすることが(13件)、〈道路〉にすることが(11件)、〈地域交流〉にすることが(8件)、〈自治会〉にすることが(8件)、〈広報〉にすることが(7件)、〈環境〉にすることが(6件)、〈災害〉にすることが(5件)、〈情報・通信〉にすることが(4件)、〈医療〉にすることが(3件)、その他(6件)となっています。

【表-8】 「地域福祉」や「福祉全般」についてご希望やご意見

ご意見は、“。”でまとめて“/”で区切っています。

〈福祉〉にすること	44件
<ul style="list-style-type: none"> ○ 要支援者の名簿を早急に作成する。/独居老人や障がい者等にヒアリングして、何かあったら声かけして欲しい人を周知させる。 高齢の方でも参加できる社会や地域の活動の場をつくる。 ○ 介護する人が相談しやすいよう、仕組みをわかりやすくしてほしい。/介護予防サービスについての情報を増やす。 福祉関連の書類を簡単でわかりやすくする。/福祉サービスについてわかりやすい資料を各家庭に配布する。 ○ 自治会での話し合いの活動を奨励する行政のはたらきかけが必要。 ○ 相談員を増やす。 ○ 高齢者が集まってランチに行く企画。/高齢者を病院や買い物などへの予約制などによる送り迎えを低額で行う。/買い物や病院へ行くサポート。/老人会の行事の時に交通の足が充分な準備が出来ていない。 ○ 乗り合いボランティアタクシー。/ランチ宅配サービス。/レクリエーション道具の貸し出し。/地域福祉というと面倒に感じるが、気軽に出来る事があれば協力したい。/ボランティア活動の拠点の整備。/ボランティア団体を紹介し呼びかけをする。 家庭内での話し合いが大切。 ○ 気軽に公共のサービスを利用できる土壌が培われるべき。 ○ 地域住民同士の連携強化。/近所づきあい、自治会、市の関係者等、顔の見える関係づくり。 ○ 子供と暮らしているため民生委員の訪問がなく、何かあった時に不安。 ○ 一人で出かけていくことが困難なため、近くに相談窓口がほしい。/高齢者が一人でサービスを利用しやすい体制づくり。/子供のいない独身男女に対しても、孤独死につながらない援助やサービス、相談窓口がほしい。 ○ 介護認定の方自宅へ訪問して認定確認をする時間を 17:00 までにしたい。/介護認定判断の見直し。 ○ 高齢者、障がい者、ひきこもり等色々支援は多岐にわたる事が大切。 ○ 各種問題を福祉の言葉でひとくりにせず、独立性を持たせて、一つ一つ深い所まで踏み込んで課題解決をする。 福祉にばかり重点をおかないでほしい。/高齢者、障がい者だけでなく、市民全員が安心して暮らせるようにしてほしい。等 	
〈施設〉にすること	17件
<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅前元公民館跡地を本田コミュニティセンターのような人が集まれる場にしてほしい。 ○ 穂小西の田畑の場に、神戸ふれあい広場のような大きな遊具がある遊び場をつくってほしい。/公園が少ない。/子供たちが遊べて皆で交流できる場所。/公園に運動用アスレチックを増やす。/卓球ができる施設を増やしてほしい。 ○ 障がい者施設が少ないので、作業所、預けられる所、自立支援の場をつくってほしい。/公共の介護施設 	

<ul style="list-style-type: none"> を設立し、待機者を減らす。 ◦ 高齢者が気軽に集える場。／公園に高齢者が使える器具を置いてほしい。 ◦ 子どもの発育遅延をフォローする療育施設。／市役所のトイレに赤ちゃん連れて入れない(ベビーカーのスペースがない、子供用の椅子がないなど)、授乳室がない。 ◦ 柳津のもえぎ野里のようなキッチンスタジオをつくってほしい。 ◦ ピアゴ穂積店に代わる商業施設の誘致。等 	
<p><行政>に関すること</p>	<p>16件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 意識向上。 ◦ 行政がもっと深く積極的に関わってほしい。 ◦ 民生委員、児童委員の担当地区が広く、全体把握が困難に感じる。／民生委員、児童委員が月に一度は電話か訪問をする。／民生委員、児童委員の人選に疑問。／民生委員、児童委員の活動報告を積極的に行う。 ◦ 社会のニーズにあわない役員、役職は廃止して、別枠を設ける。 ◦ 市政についてのビジョン等を、計画段階から早めに情報開示をして欲しい。／何に力を入れているかわかりにくい。 ◦ 支援を要する住民の悩み事の深部にまで入り込めるような行政システムの構築。／弱者に対する手助けが当たり前になるような啓発活動、政策。 ◦ 窓口が 17 時までだと短いように感じる。 ◦ 高齢者が多い自治会等の、体力のいる地域活動を行政で対応してほしい。 ◦ 行政内部(社会福祉協議会、支援センター、地域福祉高齢課等)の情報の共有ができていない。等 	
<p><子育て>に関すること</p>	<p>15件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 子育て支援の充実。／保育園の充実。／夏休みの廃止、長期休暇中の支援、放課後サービスの拡大。／双子育児ならではの悩みを打ち明けられる場がほしい。／妊娠中の相談、先輩ママから話を聞ける場所づくり。／公立の0歳児利用人数を増やしてほしい。／離乳食教室を開始直前の5カ月頃にも開催してほしい。 ◦ 保育園と地域医院の連携強化。／病児保育の充実。／乳児健康診査と 10 ヶ月児童相談の間に1回健診を増やしてほしい。／土日祝日に遊べる施設や相談窓口がほしい。 ◦ 子供の教育に力をいれてほしい。／小学校選択制度の廃止。 ◦ 虐待の相談を児童相談所でなく役場にできるようにしてほしい。市役所、学校、自宅のパイプがあるといい。教育員会だけでなく、学校などに関わりのある窓口をつくる。 ◦ 子供についての手当てが多い。医療費に上限を設けるべき。等 	
<p><交通>に関すること</p>	<p>13件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 免許証返納者の支援。／免許証を返納した際の交通手段をわかりやすくPRしてほしい。／高齢者が気軽に外出できる交通インフラ整備。／タクシー利用の助成を 80 歳以上の方全員にしてほしい。／市内循環バスを 60 歳以上無料にしてほしい。 ◦ 乗り合いタクシー。／最寄り駅が遠く、バスを使いたくても使えない。／市役所までのバスが少なくて不便。 ◦ 穂積と大垣の間に駅を新設してほしい。／駅利用者の利便を考えた施策。 ◦ 障がい者の駐車エリアをゲートで規制し、障がい者しか駐車できないシステムにする。 	
<p><道路>に関すること</p>	<p>11件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 歩道の傾斜、段差、雑草が多い。／用水路、歩道の整備。／歩道のバリアフリー化。／歩道を広くする。／ガードレールを強いものに変えてほしい。 ◦ 穂積駅のロータリーの変更は、笠松駅のロータリーを参考にしてほしい。／道路、地下道の街灯の整備。／市役所周辺に夜間の照明がほしい。等 	
<p><地域交流>に関すること</p>	<p>8件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 地域コミュニティのネットワークの整備。 ◦ 個人情報の問題があり、各家庭の情報がわからないので動きづらい。／個人情報の扱い方などについてしっかり啓発してほしい。 ◦ 自治会に入っても近所づきあいがいい。／転入者に対して迎え入れる雰囲気がない。／地域でのふれあ 	

<ul style="list-style-type: none"> いを感じられない。 ○ 人気がなく寂しい。 	
<p><自治会>に関すること</p>	8件
<ul style="list-style-type: none"> ○ 月に一度集会があるが、会話が少なく残念。／自治会の中でも高齢化が進んで負担が増えている。／自治会の組の世帯数に限度を設けて欲しい。大所帯では把握が難しい。／自治会を小規模にして意見を言しやすい環境を整えてほしい。 ○ 自治会会計で不正が横行しているため、会計監査の在り方を市で考えてほしい。 ○ 自治会の中に老人会を位置づけることが必要。等 	
<p><広報>に関すること</p>	7件
<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉活動をわかりやすく広報に載せてほしい。／広報の充実、制度の広報。／機会があるごとに広報や回覧板で知らせてほしい。／どういったボランティアを求めているか、広報や回覧板に載せてPRしてほしい。 ○ 定期的に個人宛てにハガキなどで生きがいなどをみつけるサービスを知らせる。／子育てや介護の情報を調べようと思ったがわかりにくかった。情報を身近に得られるように発信してほしい。等 	
<p><環境>に関すること</p>	6件
<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路に雑草が多い。／道路の隅に花を植えてほしい。 ○ 生活排水の垂れ流しをやめ、糸貫川を綺麗にしてほしい。 ○ ゴミステーションを増やしてほしい。／ゴミ袋の値段をさげてほしい。 ○ 農薬、除草剤、香水、学校のワックス剤、芳香剤、ゴミ燃やし等、健康被害を受ける人がいることを認識してほしい。 	
<p><災害>に関すること</p>	5件
<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災意識の向上。防災訓練に多くの人に参加するよう工夫する。 ○ 障がい者、高齢者の避難場所までの具体的な移動手段の案や計画を示してほしい。／聴覚過敏があり避難所生活が困難なため、いざという時のために市役所でスカーフをもらった。持っている周囲の人に助けを求めやすいと思う。 ○ 災害時の放送が聞こえない。／避難所の場所をわかりやすくしてほしい。 	
<p><情報・通信>に関すること</p>	4件
<ul style="list-style-type: none"> ○ SNSを利用する。 ○ IT化の推進。班でLINEグループをつくる。 ○ 各団体のネットワークを強化し、情報を共有する。 ○ インターネットに疎い人もいるため、なんでもIT化せず、設置されているスピーカーを利用して情報を伝えてほしい。 	
<p><医療>に関すること</p>	3件
<ul style="list-style-type: none"> ○ インフルエンザの予防接種の助成金制度をつくってほしい。 ○ 乳がん検診で「要観察」になった時は、翌年も受けられるようにするか、紹介状をかいてほしい。 ○ 総合病院(瑞穂市民病院)をつくってほしい。 	
<p><その他></p>	6件
<ul style="list-style-type: none"> ○ このアンケート活用して対策をしてほしい。 ○ 若者が将来もこの町で暮らしたいと思えるようにしてほしい。 ○ 地域のことをよく知らないが、災害などが起きたら、出来る事があればボランティアしたい。 ○ 勉強会や説明会が土日祝日だけだと参加できない人もいるため、色々な曜日、日時にして参加機会を増やしてほしい。 ○ 市にお金がなく生活しにくい。 ○ 瑞穂市だけでなく、周囲の市や町と連携した取り組みが必要になってくる。 	

その他の意見

選択肢に「その他」とある設問については、その他の内容について自由記述でご意見をいただきました。その内容を問ごとにまとめると以下のとおりとなります。なお、原文のまま掲載し“/”で区切っています。ご意見の後の（数字）は同一の数を表します。

問3 あなたを含め、同居されている家族構成をお答えください。（1つに〇）

【表－9】 現在の家族構成

その他
サービス付き高齢者住宅
介護施設
居候
月に数日だけ夫と子供が帰ってきます
親・娘夫婦・孫
祖母・夫婦・子ども／祖父母と孫／親・子供・弟／夫婦・親・子供／母、子供
子供と二人／子供二人／子供／夫婦と子供（2）／娘／両親と自分／夫婦と父親／母
夫婦・弟／夫婦と夫の姉
親一人子一人
母と娘

問7 あなたにとって、市民が互いに助け合いの活動ができる「地域」とはどんな範囲だと思いますか。（1つに〇）

【表－10】 互いに助け合いの活動ができる「地域」の範囲

その他
友人、親戚
気持ちが繋がっている思いが同じ
お互いの家に行き来している仲
活動内容によって地域の範囲は異なる
マンションの為関わりわりはない

問9 お住まいの地域は暮らしやすいと思いますか。(1つに○)

【表-11】 地域の暮らしやすさ

暮らしにくい(理由)
未満児の待機児童が多い。希望の園、兄弟と同じ園に通えない
歩いて行ける場所がない、バスも不便／車でしかスーパー等にいけない／近くに買い物する所がない、下水道の不備／買い物が不便／車がないと不便／公共交通機関を利用するにあたっての不便さ駅までの足がない、バスが不便／市役所周辺は賑やかでも離れるほどに何もない、車を使わないとどこも行けない／病院、スーパーなど徒歩でなくてはいけない
学校が遠い、行事が多い(地域の清掃等)／自治会の行事が多い、保育料・ゴミ袋が高い／行事が多い／自治会、消防等古くからの慣例が多すぎる／浄化槽の点検、びん、缶のゴミ当番が自治会で定期てきにあるため
町内の付き合い／アパートの騒音、不審者が住んでいる／地域の方のバイクの騒音／車がうるさい、早朝時の取り締まりをして欲しい／近隣の方の勝手気ままな迷惑駐車／近所のトラブル／運送会社の騒音・捨て猫にエサをやる人がいる為かなりの糞が落ちている・違法駐車等／隣近所の年齢の違い、ゴミを車で運ぶ(高齢者にはちょっと)
居住年数により、色々な行事の参加問題がしっかりしていない
市民病院
税金(市民税が高すぎる)
道路が狭いから

問11 あなたがお住まいの地域で、高齢者や障がいのある人、子ども、子育てなどで困っているご家庭があった場合、あなたにできることは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

【表-12】 困っているご家庭があった場合、できること

その他
ペット飼育
寄付
必要と言われたことを手伝う
全てハードルが高い。ほぼ介護士がやっている事で一般の人がやるにはリスクがある
昨年就職したばかりで自分の事で精一杯の為何も出来ない
私自身がお世話になる年齢です／高齢の為／仕事の為休日に限る
強制ではなく苦情なし前提でできる事
行政への連携、報告

問 13-1 あなたが現在取り組んでいるボランティア活動の具体的な内容は次のどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

【表-13】 現在活動している方の具体的な内容

その他
サロンのお手伝い（食事を作ったり、リクレーション）／サロンの手伝い
介護施設での洗濯、衣類の補修
交通安全／交通安全啓発活動
自宅周辺のゴミ拾い
小学校での絵本の読み聞かせ
自治会での役員活動

問 15 あなたは、ボランティア活動の輪を広げるために、今後どのようなことが特に重要だと考えますか。（あてはまる番号すべてに○）

【表-14】 ボランティア活動の輪を広げるために、今後どのようなことが特に重要か

その他
一度ボランティアをしたからと言って、常にできる状態ではないので、しつこく誘わない
IT化、オンラインで行えるなど
やりたい人の為に場所、人は必要
ボランティアを求める人とする人をマッチングするシステム
分かりません／わからない（4）
全て魅力がない
いない

問 16 あなたは、保育、健康診査、高齢者や障がい者への福祉サービスなどの情報をどのように入手していますか。（1つに○）

【表-15】 保育、健康診査、高齢者や障がい者への福祉サービスなどの情報の入手先

その他
おなじ障害を持った友人／ボランティア仲間
市役所からのハガキ／市役所からの手紙のみ／家のポストに入れる手紙のみ／通知が届いて知る／健診は郵送されてくる／封書が届いて知ります／毎年 健康診断の用紙が郵送される／郵送される物に関して知るぐらい／郵送物／郵便（ハガキ、封書など）／郵便物／ダイレクトメールなど
新聞／テレビでの情報
特に必要な事がないので、情報を入手しようとしていない／特に気にしていない、進んで情報を入手していない／あまり気にしたことがない／入手していない（4）
入手できていない／入手出来ていない
全く知らない
介護については、8年前まで自宅で母を介護していたのでその当時の事はわかるが、現在はよくわからない
高齢だし、こちらへ来てまだ日が浅いのでわからない

問 17 あなたは暮らしの問題で困ったときに、誰に相談しますか。
（あてはまる番号すべてに○）

【表-16】 暮らしの問題で困ったときの相談相手

その他
職場の同僚（2）
警察
高校の恩師
作業所のスタッフさん
家族以外相談する所がわからない
インターネットで情報を得る
自己解決します
第三者はない
今のところたいして困った問題はない
自身が体験した事を相手に伝えてみる
内容によるので一概には言えない

問 18 あなたは、市役所の窓口で相談や手続きに行く場合、どのような窓口だと良いと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

【表-17】 市役所の窓口

その他
<p>人員の少なさ</p> <p>土日、夜にも行きやすい／土日でも相談できる／土日でも窓口を開けてほしい／日曜日でも相談できる日があってもいいと思う／平日以外も手続きできる窓口／昼休みにも営業している窓口／24 時間もしくは 22 時くらいまで窓口の対応時間を長くすること／出向かなくてもすむとよい、又は 勤労者向けに夜間受付／本庁舎までいかなければならない事もある</p> <p>現状は提出書類や、説明書を頂く状況ですので、ただの窓口だと思っています。ただ、もう少し笑顔のある表情があると良いと思います／窓口に行くとても冷たい人を見下したような目で見られるので、今後は とても親切な対応をして頂きたい／役所仕事の事務員ばかりでない窓口／対応が悪すぎるので行きたくない</p> <p>かなりプライベートな個人情報を取り扱う窓口（職員）として職務上得た情報を本当に固く口外しないように守って下さっているのか、時々心配になる。どこまで徹底されているのか、安心できるように市役所窓口ポスターなど貼ると良い</p> <p>瑞穂市役所は職員の知識がないです。管轄部署なのにたらいまわしにされ、誤った案内をされ時間とお金を無駄にしました。自部署の手続きは勉強してください</p> <p>守秘義務を徹底していただきたい</p> <p>必要に応じてアフターフォローまで関わる</p> <p>一つの事その個人をあらゆることをまとめてコーディネート出来る人</p> <p>1. 2. 3. 4 については当然今でも出来ていて当たり前と考えて欲しいです</p>

問 23 今後、高齢化が進む中で、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

【表-18】 成年後見制度の利用促進・充実を図っていくために必要なこと

その他
利用費用について不安である、収入・財産が少ないため／お金がかからない／お金がかからないようにする／費用が掛からない信用できる人が必要
成年後見人が弁護士や司法書士に選任された場合の被後見人が報酬を支払えない場合の行政 etc 何らかの資金援助
プライバシーが守れるのか心配
後見人となる人の負担の軽減
元気なうちに、しっかりと終活について勉強し備える
「成年後見人とは」のような勉強会の実施／市民の学習講座の開設（無料）／事前にその制度についてどういう手続きをするのか、支援内容は何かなどを市民に広く告知する、講演会などで。60歳になる年に案内を送るなど
高齢者や障がいのある人への訪問相談
行政が前向きに取り組めば良い
バスサービス拡充、JR横屋駅の新設により、より出かけやすい環境を作ることで、暮らしにいろどりを
利用例がないのにどのような促進するのか？／直面していないからわからない
難しい言葉がありわかりません／わかりません／わからない
必要ありません

問27 あなたは、自殺を減少させるために重要だと思うことは何ですか。
(3つまで○)

【表-19】 自殺を減少させるために重要だと思うこと

その他
そこが全てではないと逃げ道を準備できる(する)行動力のある人
家族の支え教育/家族の時間・会話・温かさ
市内にも相談を含めいろんな話を聞いてくれる TEL 番号があるといい
食育の普及
子供の頃からしっかり挨拶できる子供にして他人の嫌がることはさせない親の教育。社会人になっても挨拶出来ない人が多い、どんな会社でも挨拶がハッキリ出来る人は得をする
世間的に思いやりの心がなさすぎの世の中で、思いやりの心を広げては？
いじめなどを原因に自殺する人は身近な人に心配かけたくないという思いから相談できずにいる。だから先生に相談するが学校はいじめを隠そうとする。いじめはパワハラと同じ法で裁かれるべきである/学校でのいじめ加害者に対する厳罰化/いじめ対策(特に中学生)
いじめに悩む子に早く気付くため、全学校にゲートキーパーを投入する
カウンセラーが一人一人に付くくらいの充実、又カウンセリングが気軽に受けられる社会
コミュニケーションせざるを得ない環境にすること、孤立することが、価値観の違いやネガティブ思考、犯罪、自殺思考を生み出した
本人の精神的鍛錬が必要、その場の整備
自殺の考えは急にやってくる
心の病は誰も知ることは難しすぎる
格差社会是正
金銭にまつわることが多い
自殺が悪い事とは思わないから
人の本質的に無理だと思う
減少は難しい
わからない

問 28 地域の中で安心して暮らすためにどんなことが必要なことと思いますか。
(3つまで〇)

【表-20】 地域の中で安心して暮らすために必要なこと

その他
お互いに自然とあいさつが出来る地域をつくる
誰もがいずれは年をとり高齢者になるという自覚や、いつか自分が障がい者になるかもしれないというボーダレスの考え方をもっともっと幼いうちから知ることが大切
自治会等での活動にもっと積極的に参加する為の何らかの対策
警察がいる事が分かるようにパトロールを増やす
不審者情報の共有
役所に訪れる機会を増やすようにする。役所の職員、スタッフがもっと市民と距離を縮め、知り合いレベルまでの関係となり地域内で知り合いだらけになればよいかと
地域や市民への協力ばかり求めるのではなく、心身に悩み等相談できる窓口の開設と専門的な担当者を窓口とした行政内での改善も必要だと思えます。仕事だからやっているそんな感じでは相談に行く人にも失礼に当たります
行政地区として財政向上を図る
家を出ている家族の支援が必要
近所の方々との交流
広報の放送が聞こえないのでどこでも聞こえるようにして欲しい。外灯が少なく暗いので危ない。市民総合病院を作る
市内にクアハウスを新設し療養の一助とする
バス等交通をもう少し使いやすくして欲しい、車に乗れない人高齢者を活動しやすくして欲しい
市民税をもっと安くして欲しい
国レベルで改善されなければ地域がどれだけががんばろうと難しい
市民がやるには負担がかかりすぎると思うので、国などの機関が主となりサポートしてほしい
障がい者用の駐車エリアは障がい者しか利用できなくする。ETCのようにゲートで制限するのが理想だが、まずは各店舗に監視員を投入する
何を持って安心か？

問 29 あなたが知っている社会福祉協議会の活動は次のうちのどれですか。
 (あてはまる番号すべてに○)

【表-21】 社会福祉協議会の活動について知っていること

その他
そもそも何をしているのかわからない
市役所内でバラバラになっていてよくわからない、利用する時にうちの課になっていて不便、つながっていない

問 32 あなたは瑞穂市をどんな「福祉のまち」にしたいと思いますか。
 (3つまで○)

【表-22】 瑞穂市をどんな「福祉のまち」にしたいか

その他
助け合いだけでなく、一人一人の自立が出来る町
格差の少ないゆとりを持てる町
誰もが安心して生活できる町
子供に手厚い(手当等)まち、子供は国、市の宝
低所得者に充実したサービスを提供&PR
福祉予算の確保と市独自の税制作り
お金のかからない高齢施設
バスの本数を増やすことでもっと出かけ易い町にする
力を入れている感じが見えません
特にない
わからない

問 33 あなたは、瑞穂市の保健・福祉施策として、今後、どのような取り組みが重要と思いますか。（3つまで〇）

【表-23】 今後重要だと思う保健・福祉施策について

その他
穂積駅まわりの再開発、魅力ある瑞穂市へ発展し、10万人都市へ成長する。若い人が高齢者を支えられる町へ
他県なども参考にして他市の良い所を取り入れてほしい、カベのない福祉であってほしい
子供達の健康（市民の健康）を一番に考え農薬のヘリコプターの一斉散布を通学（下校）時間から外す、もしくはなくして欲しい
公共交通の充実／交通面の改善、みずほバス等／市内の移動インフラを整える
家の中にいても気持ちは晴れないので外に出かけるために、バスの本数を増やして欲しい。外に出ればお金を使う機会が増え、結果として経済が回り、町が潤う。横屋にJRの駅があればさらに良くなる
サービスを受けられる回数を増やしてほしい
税金をあまりかけないで済むこと
資金がなくては何も進まない
本気を見せてください

問 34 あなたは、災害時や緊急時において、障がいのある人やひとり暮らしの高齢者などに対して避難支援や安否確認などの支援を行うためには、どのような体制をつくるのがよいと思いますか。（1つに〇）

【表-24】 災害時や緊急時の避難支援や安否確認などの支援

その他
通信機器を使った簡単な連絡方法があればと思う
安否確認の手法を町内で統一し各戸に徹底する
自治会の中、班のなかで要支援者への支援を行う担当者を決める
何処に誰がいるかわかるマップと担当をつくる
一人で行動できない人間は一人では生活できない。制度が必要
地域一丸となって支え合う

